

ペロブスカイト太陽電池は本命か？問題点・将来性・実用化の現実を徹底解説

Published: 2026-03-28 / Updated: 2026-09-05

Summary

ペロブスカイト太陽電池を、寿命、施工、面積制約、ROI、政策支援、量産、特許、中国サプライチェーン、エネルギー安全保障から検証する。将来性と現時点の導入合理性、政策による需要形成と市場競争力を分け、なぜ普及していないのか、なぜ日本政府が国策として推進するのかを事業・産業構造から示す。

Key Points

- ペロブスカイト太陽電池は追跡すべき将来技術ですが、現時点では導入を待つ理由にはなりません。採用判断は軽さや理論効率ではなく、寿命、施工、保守、交換、廃棄、面積あたり発電量、投資回収まで含めて行い、既存技術で成立する案件は先に実装するのが実務的です。
- 量産前の収益構造、100MWから1GWへの規模拡大、事業化初期の採算条件に関する記事内の一次情報。
- ペロブスカイト・シリコンタンデム型の高効率化と商用化動向に関する記事内の一次情報。

Sources / References

Manufacturer-ir-primary

積水化学工業株式会社：ペロブスカイト太陽電池事業説明会質疑応答（2025年1月7日開催）

URL: https://www.sekisui.co.jp/ir/event/other/1425673_40089.html

Manufacturer-primary

Oxford PV：Perovskite-on-silicon tandem solar technology

URL: <https://www.oxfordpv.com/>

Source Article

<https://www.ieee802.co.jp/articles/article-063-perovskite.php>

© Kei Communication Technology Inc.

This document is a summary of the source article. For the latest information, refer to the source URL.